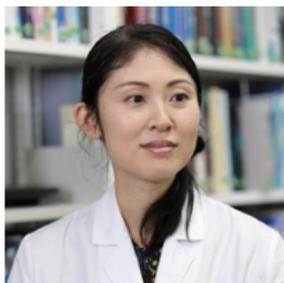


# CJ5

## 平野 美奈子

Minako Hirano

光産業創成大学院大学  
講師



## イオンチャネル標的薬が もっと身近になる

### AT PRESENT

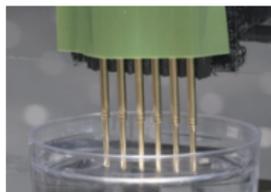
#### イオンチャネルに作用する有効薬探索の 高速化が望まれている

- イオンチャネルが引き起こす「チャンネル病」には有効な治療薬のない難病もある。
- イオンチャネルへの薬の効き目を効率的に評価する装置の開発が求められている。

### TECHNOLOGY

#### イオンチャネルへの薬剤効果を 高効率・高精度で測定・評価する装置を開発

- 株式会社システックと共同で、イオンチャネルの働きを自動で計測する装置を開発。
- 装置内に、イオンチャネルが働く場である細胞膜を人工的に作製しイオンチャネルの働きを測定・評価する。
- イオンチャネルの働きを、薬剤あり・なしの条件下で測定。薬剤のイオンチャネルへの効果を評価。
- 従来の装置と比べて短時間での測定が可能。他のタンパク質の影響を受けずに測定対象のイオンチャネルのみへの薬剤の効果を測定できる。



### IN THE FUTURE

#### 未成熟な市場に、画期的な計測装置を

- 薬剤のイオンチャネルタンパク質への効果を高効率・高精度で評価する自動化装置を製作し、製薬・農薬の開発支援用の評価装置を提供する。
- 自動で簡単に、イオンチャネルの活性を複数計測できる装置を完成させ、難病治療薬の迅速な発見に貢献する。